

# 交通安全研究に関するgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年07月26日 ～2019年08月06日	イギリス	ラフボロー大学	・機械工学科、地域環境システム専攻、機能制御システム専攻 ・学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生14名、TA2名、教員1名、職員1名 (ラフボロー大学) 学生2名、教員1名、職員4名	伊東 敏夫(機械制御システム学科)



図1 ラフバラー大学デザイン学部校舎

2019年7月28日から8月6日まで、イギリスのラフバラー大学デザイン学部交通安全研究センター(TSRC)で、機械制御システム学科の伊東教授主催、ラフバラー大学のアンドリュー・モーリス教授指導のもと、交通安全に関するgPBLを実施しました。TSRCのEUを代表する交通安全研究を学びながら、参加した機械制御システム学科とシステム理工学専攻の学生達は交通安全に関する実際の課題(日英交通事故相違解析、日英ドライバ挙動解析等)にチーム毎に現地データを解析して取り組みました。参加学生は実際の日英の相違を学ぶことができ、全員が初めてのイギリス訪問ということもあり印象的で貴重な学びができたと感じていました。



図2 課題計画のデザインレビューの様子



図3 日英ドライバ挙動のディスカッション



図4 学生寮の夕食



図5 チーム毎の最終発表会の様子



図6 モーリス教授を囲んでの集合写真



図7 現地マーケットのシニアカーの実態調査